口本工子!	院八王子専門学校	用舑牛及	2019年度( <sup>3</sup>	平成31年度)	科目名	ビジネス	~ ~ <i>/ / / / / / / / / /</i>	
科目基礎情	<b>5</b> 報		•		•			
開設学科	ゲームクリエイター	科	コース名				開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	45時間	
単位数	3単位		授業形態	講義			-	
改科書/教材	毎回資料および練習	問題を配布す	る。参考書	。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
旦当教員情	<b></b>							
旦当教員	山本				実務経験の有	無・職種	無	
学習目的	•				<u>I</u>			
	入学して受験する最初の 格を目指した学習を進							<b>養を理解する。</b>
<b>別達目標</b>	1 校〉康却江田寺段 2	T.I- 人 - か ナ - フ	+ + 口計幹 /	7 年 ナ ナ	1 ハバテキフラ	· ナ u ナ 白 l ー	·+ / + · 7	
	」検)情報活用試験3 タに関わる基本的な知							
	タの利用に関わる基本に					.,	11, 00	
数育方法等	<b>.</b>							
	9月に学科内で実施するCBT方式の試験を必ず受験する。							
受業概要	9月に学科内で実施す	<sup>-</sup> るCBT方式の記			7 7 1. 18 + 4.	o.z \\ \( \dag{\phi} \)	- 7 - 1.	
		<sup>-</sup> るCBT方式の記			ることができな	いので注意す	- ること。	
	9月に学科内で実施す	<sup>-</sup> るCBT方式の記			ることができな	いので注意す	-ること。	
	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4種別 割合	るCBT方式の記分の3以上出版	常しない者は	評価を受ける	ることができな	備考		考慮する。
主意点 評価	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4     割合       種別     割合       試験・課題     80       小テスト     (	るCBT方式のi 分の3以上出版 % 評価試験に %	常しない者は	評価を受ける		備考		考慮する。
主意点 評 価 方	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4     割合       種別     割合       試験・課題     80       ルテスト     ()       レポート     ()       パテスト     ()	るCBT方式のi 分の 3 以上出版 % 評価試験に %	常しない者は	評価を受ける		備考		考慮する。
主意点 評価	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4     割合       種別     割合       試験・課題     80       小テスト     (0       レポート     (0       成果発表     (口頭・実拔)       (口頭・実拔)     (0	るCBT方式のi 分の3以上出版 % 評価試験に % %	ましない者は、よって理解	評価を受けれ	行う。また資	<b>備 考</b> 格試験受験		考慮する。
主意点 評価 方法	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト ( レポート ( 成果発表 ( 口頭・楽技) ( 平常点 20	るCBT方式のi 分の3以上出版 % 評価試験に % %	ましない者は、よって理解	評価を受けれ		<b>備 考</b> 格試験受験		考慮する。
主意点 評価方法 受業計画(	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト ( レポート ( 成果発表 (ロ頭・実按) で 平常点 20 (1回~12回)	るCBT方式の記分の3以上出版 % 評価試験に % % % % % % % % % %	ましない者は、よって理解	評価を受けれ	行う。また資	<b>備 考</b> 格試験受験 価する	の結果もま	考慮する。
主意点 評価 方法 受業計画 (	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト ( レポート ( 原果発表 (ロ頭・実技) ( 平常点 20 (1回~12回)	るCBT方式のii 分の3以上出版 % 評価試験に % % % % 授業態度、	まって理解 演習問題へ	評価を受ける 解度の確認を への取り組み	・行う。また資 ・方によって評	<b>備 考</b> 格試験受験 価する 各回の至	の結果もま	
注意点 評価方法 <b>受業計画</b> (	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト ( レポート ( 成果発表 (ロ頭・実按) で 平常点 20 (1回~12回)	るCBT方式の記分の3以上出版 % 評価試験に % % % % が が が が が が が が が が	まって理解 演習問題へ 在学中に受	評価を受ける 解度の確認を への取り組み 験対象となる	・行う。また資 ・方によって評 ・資格・検定試験	<b>備 考</b> 格試験受験 価する 各回の至 食がわかる。	の結果もま	ゴリーがわかる。
主意点 評 <b>価方法</b> <b>愛業計画</b>	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 ハテスト (ロ頭・実接) (ロ頭・実接) (ロ回〜12回) 資格・検定試験概略、 データ構造と情報表現	************************************	ましない者は よって理解 漢習問題へ 在学中に受 データの表	評価を受ける 解度の確認を への取り組み 験対象となる 現(2進、10	・行う。また資 ・方によって評 ・資格・検定試験 進、16進数)、	<ul><li>備 考</li><li>格試験受験</li><li>価する</li><li>各回の至 徐がわかる。</li><li>コンピュータ</li></ul>	の結果も <sup>ま</sup> 」達目標 」検のカテ における情	
主意点 評 <b>価方法</b> 受 <b>業計画</b> 1 回 2 回 3 回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト (の ルテスト (の ルテスト (の ルテスト (の 東第8表 (の 平常点 20 (1回~12回) 資格・検定試験概略、 データ構造と情報表明 データ構造と情報表明	************************************	ましない者は よって理解 演習問題へ 在学中に受 データの表現	評価を受ける 解度の確認を への取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グラ	が行う。また資 が方によって評 の資格・検定試験 進、16進数)、 フ、論理演算)	<ul><li>備 考</li><li>格試験受験</li><li>価する</li><li>各回の至 食がわかる。</li><li>コンピュータ</li><li>、データ構造</li></ul>	の結果もまり 」達目標 」検のカテ における情 遠(スタック	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。
主意点 評 <b>価方法</b> <b>業計画</b> 1 回 2 回 3 回 4 回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 ハテスト () レポート () 成果発表 (ロ頭・実技) (20 (1回~12回) 資格・検定試験概略、 データ構造と情報表現 データ構造と情報表現	************************************	ましない者は よって理解 漢習問題へ でデータの表 情報の表現 デシジョン	評価を受ける 解度の確認を への取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グラファーブル(決	・行う。また資 ・方によって評 ・資格・検定試 進、16進数)、 フ、論理演算) ・定表)、デシシ	<ul><li>備 考</li><li>格試験受験</li><li>価する</li><li>各回の至</li></ul>	の結果もまり 対達目標 」検のカテ における情 で、フローチ	ゴリーがわかる。 「報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。
主意点 評価方法 計画 2 2 3 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4  種別 割合 試験・課題 80  小テスト (の の を で で で で で で で で で で で で で で で で で	************************************	ましない者は よって理解 注ので理解 を学中に受 でする。表現である。現 でもない。また。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	評価を受ける 解度の確認を への取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グラン テーブル(決 法(KJ法)、	・ 行う。また資 ・ 方によって評 ・ う資格・検定試 進、16進数)、 フ、論理演算) ・ 定表)、デシシ モデル化の手法	<ul><li>備 考</li><li>格試験受験</li><li>活価する</li><li>各回の至 食がわかる。</li><li>スデータ構造 ションツリー (E-R図、DF</li></ul>	の結果もまり 対達目標 」検のカテ における情 覧(スタック 、フローチ D)がわか	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。
主意点 評価方法 受業計画 L回 2回 3回 1回 5回 6回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 ハテスト ( レポート ( 原理発表 (ロ頭・実接) ( 平常点 20 (1回~12回) 資格・検定試験概略、 データ構造と情報表現 データ構造と情報表現 市の関解決処理手順(1) 問題解決処理手順(2) パソコンの基礎	***	ましない者は よって理解 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価を受ける 深度の確認を いの取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グラ: テーブル(決 法(KJ法)、 、インタフェ	が (方によって評価を (方によって評価を (方によって評価を (方によって評価を (方によって評価を (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	<ul><li>備 考</li><li>格試験受験</li><li>価する</li><li>各回の至 検がわかる。</li><li>スンピュータ構造 ションツリー (E-R図、DF 置(メモリ、名</li></ul>	の結果もまり 対達目標 」検のカテ における情 にスタック 、フローチ D) がわか 前助記憶)、	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。 ファイル形式がわかる。
主意点 評価方法 計画 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回 7 回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4  種別 割合 試験・課題 80 小テスト (の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	***	ましない者は よって理解 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価を受けれ 深度の確認を いの取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グラン テーブル(決 法(KJ法)、 、インタフェ トの仕組み、	が行う。また資 が方によって評 が資格・検定試験 進、16進数)、 フ、論理演算) ま定表)、デシショ モデル化の手法 ニース、記憶装験 プロトコル、イン	<ul><li>備 考</li><li>格試験受験</li><li>価する</li><li>各回の至 検がわかる。</li><li>スピュータ構造 ションツリー (E-R図、DF 置(メモリ、新レターネット)</li></ul>	の結果もまり 」検のカテ における情 における情 、フローチ D) がわか 前助記憶)、 続続、IPアド	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。
主意点 <b>評価方法 受業計画</b> 1 回  2 回  3 回  4 回  5 回  6 回  7 回  8 回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト () レポート () 成果発表 () (1回~12回) 資格・検定試験概略、 データ構造と情報表現 データ構造と情報表現  データ構造と情報表現	***	ましない者は よって理解 でである。 ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	評価を受ける 深度の確認を で取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グラ: デーブル(決 法(KJ法)、 、インタフェ ・トの仕組み、 タワイルスと	が (方)。また資 (方によって評 (方によって評 (方によって評 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	<ul> <li>備 考</li> <li>格試験受験</li> <li>価する</li> <li>各回の至</li></ul>	の結果もまり 」検のカテ における情 における情 、フローチ D) がわか 前助記憶)、 続続、IPアド	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。 ファイル形式がわかる。 レス、サーバーの種類がわかる。
主意点 <b>評価方法 受業計画</b> 1 回  2 回  3 回  4 回  5 回  6 回  7 回  8 回  9 回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト (	************************************	ましない者は よって理解 在学ータの表 ま 決技 情報シジ解決装置 イコス フロース フロース	評価を受ける 解度の確認を への取り組み 験対象となる 現 (2進、10 と操作(グラニ 法 (KJ法)、 、 インタフェ ・ トの仕組み、 フトに関する	(行う。また資本方によって評価を表します。) 資格・検定試験 進、16進数)、フ、論理演算) まで表)、デシシモデル化の手法・コス、記憶装置プロトコル、インファ、暗写化 基本的な事柄が	<ul> <li>備 考</li> <li>格試験受験</li> <li>価する</li> <li>各回の至 食がわかる。</li> <li>、 データ構造</li> <li>ジョンツリー</li> <li>(E-R図、DF</li> <li>宣(メモリ、名</li> <li>レターネットを</li> <li>げわかる。</li> </ul>	の結果もまり 」検のカテ における情 における情 、フローチ D) がわか 前助記憶)、 続続、IPアド	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。 ファイル形式がわかる。 レス、サーバーの種類がわかる。
主意点 <b>評価方法 詳価方法</b> 1 回  1 回  2 回  3 回  4 回  7 回  8 回  9 回  1 0 回	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4  種別 割合 試験・課題 80  小テスト (の頭・実験) (の面を対しませます。 (の面を対しませませます。 (の面を対しませませます。 (の面を対しませませます。 (の面を対しませませませませませませませませませませませませませませませませませませませ	************************************	ましない者は よって 理関 在学中タの表現ン 情が 題出 カターエーソフスープ ま カースープ リファースーフリファースープ リファースープ リファースープ リファースープ リファースープ リファースープ ステート ファースープ ま	評価を受ける 深度の確認を いの取り組み 験対象となる 現(2進、10 と操作(グランス) 法(KJ法)、 、 トの仕ルス フトに関する 基	(行う。また資本方によって評価を表しています。) 資格・検定試験 進、16進数)、フ、論理演算) まで表)、デシジェデル化の手法 コース、記憶装置 プロトコル、イン 対東、暗写化 基本的な事柄が	<ul> <li>備 考</li> <li>格試験受験</li> <li>価する</li> <li>各回の至 食がわかる。</li> <li>、 データ構造</li> <li>ジョンツリー</li> <li>(E-R図、DF</li> <li>宣(メモリ、名</li> <li>レターネットを</li> <li>げわかる。</li> </ul>	の結果もまり 」検のカテ における情 における情 、フローチ D) がわか 前助記憶)、 続続、IPアド	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。 ファイル形式がわかる。 レス、サーバーの種類がわかる。
価 方 法	9月に学科内で実施すなお、授業時限数の4 種別 割合 試験・課題 80 小テスト (	************************************	ましない者は よって理解 在データの表 ヨ 決技 問題出 ターユーソフ スープ ま ファーク ま ファーク ま ファーク ステーク ステーク ステーク ステーク ステーク ステーク ステーク ステ	評価を受ける 深度の確認を への取り組み 験対象となる 現 (2進、10 と操作(グラ: 大 (KJ法)、 大 インタフトに関する よ に関する と ア開発の工程	を行う。また資金を持たよって評価を対しています。 (本方によって評価を対します。) (大方によって評価を対します。) (大方によって、記憶装置では、できません。) (大力を、暗って、記憶装置では、対象、暗っては、基本的な事柄がな事柄がない。)	<ul> <li>備 考</li> <li>格試験受験</li> <li>福する</li> <li>各回の至 食がわかる。</li> <li>ブータ構造</li> <li>ジョンツリー</li> <li>(E-R図、DF</li> <li>宣(メモリ、名)</li> <li>ロンターネットが</li> <li>がわかる。</li> <li>つかる。</li> </ul>	の結果もまり 」達目標 」検のカテ における情 」(スタック 、フローチ D)がわか 前助記憶)、 発統、IPアド アインタル	ゴリーがわかる。 報の表現(文字、数値)がわかる。 7、キュー、ツリー)がわかる。 ャート(流れ図)がわかる。 る。 ファイル形式がわかる。 レス、サーバーの種類がわかる。